

鈴木貫太郎記念館 再建基本構想を策定

～登録博物館・観光振興の拠点として位置付け～

野田市は、休館中の鈴木貫太郎記念館の再建に向けて、鈴木貫太郎記念館建設準備委員会の協議を経て、記念館を博物館法に定める登録博物館とし、観光振興の拠点として位置付ける再建基本構想を令和6年3月に策定した。

市では、同基本構想を活用し、更に再建機運の醸成を図るとともに、今後の具体的な基本計画の策定に向けて取り組んでいく。

●登録博物館・観光振興の拠点

現在の記念館は、博物館類似施設に当たり、所蔵資料の保存や活用に適切な環境であるとはいえないことから、温湿度管理、収蔵室の設置、学芸員を配置するなど適切な環境を整備し、博物館法に定める登録要件を有する博物館として再建する。

再建場所は、現在の記念館が建てられた経緯を踏まえ、鈴木貫太郎の功績を顕彰する施設として運営していくため同じ場所に建て替える。

昨今の博物館に期待されているまちづくり、観光などの様々な分野との連携による地域社会へ貢献する役割を踏まえ、隣接する閑宿あおぞら広場との一体的な土地利用の検討、市内の関連文化施設のネットワークや茨城、埼玉両県境にある地域特性を活かし、市内外の観光施設等との連携を図り、観光振興の拠点として地域の活性化につなげる。

●建設規模等の検討方針

建設規模、浸水対策、管理運営方式、入館料の設定については、基本構想に記した検討方針を踏まえ、今後の基本計画の策定や設計業務を進めていく中で具体的な方法や内容を固めていく。

再建に必要な財源の確保については、再建の意義にご賛同いただける方々の寄附を活用させていただくことを考えており、設置している鈴木貫太郎記念館再建基金の積立額は現時点で357,790千円である。さらに市内外の個人や事業者等に働きかけ、寄附の協力を求めていく。また、実施時期や目標を定めた上で、クラウドファンディングの実施についても検討していくほか、ふるさと納税等も活用していく。

問合せ＝鈴木貫太郎記念館建設準備担当・直通なし

代表 04-7125-1111（内線 3654）

野 田 市